

第22回世界少年野球大会三重・奈良・和歌山大会について 実施概要（報告）

平成24年8月1日
スポーツ推進局

第22回世界少年野球大会三重・奈良・和歌山大会が開催され7月30日にすべての行事が終了しました。

- 1 実施期間 平成24年7月22日（日）から7月30日（月）まで
（参加者受け入れ：7月22日、参加者送り出し：7月30日）
- 2 参加者 別紙
- 3 実施内容
 - (1) 開会式 7月24日
 - ・場所：熊野スタジアム
 - ・参加者数 大会参加の少年少女 324名
役員・大会スタッフ等 626名
観客 約1,500名
 - (2) 交流試合 7月24日から7月29日 12試合実施
 - ・中国、韓国チームと三重、奈良、和歌山県の各4チームと対戦
 - ・場所：熊野スタジアム、下北山村スポーツ公園、くろしおスタジアム
 - ・観客数（3会場6日間12試合）：約3,000名
 - (3) 野球教室 7月24日から7月29日 6回実施
 - ・場所：山崎運動公園内
 - ・世界13の国、地域から参加した少年少女に対して、IBAF（国際野球連盟）コーチによる野球の実技指導
 - (4) 交流行事 7月25日から7月29日 7回実施
 - ・場所：熊野市、御浜町、紀宝町、下北山村、新宮市
 - ・交流試合、野球教室に参加した少年少女が交流行事（海の体験、祭り体験、川遊びなど）を通して地域の皆さん方と触れ合い交流を深める。
 - (5) 閉会式 7月29日
 - ・場所：熊野スタジアム
 - ・参加者数 大会参加の少年少女 約300名
役員・大会スタッフ等 約200名
観客 約200名
 - (6) その他 大会期間中ウエルカムパーティー、記念パーティー、グッドウィルパーティーを実施
- 4 その他 大会に参加の少年少女及びホストスタッフ、アシスタントコーチ、IBAFコーチ等のスタッフは、7月29日（日）にマレーシア、インド、アメリカが、7月30日（月）に他の参加者が熊野市を離れ帰国の途につきました。

第22回世界少年野球大会 三重・奈良・和歌山大会 参加者数

平成24年8月1日

1 大会期間中の総参加者数 約6,200名

内訳は次のとおりです。

2 参加者 324名

(1) 野球教室 125名 (内訳は以下のとおり)

○12の国、地域 60名

カナダ 中華台北 コートジボワール チェコ フィジー
フランス インド マレーシア ニュージーランド スペイン
ベネズエラ アメリカ合衆国

○国内 65名

内訳 (三重15名、奈良10名、和歌山10名、その他30名)

(2) 交流試合 199名 (内訳は以下のとおり)

○国外 28名 中華人民共和国 大韓民国 以上2チーム

○国内 171名 三重 59名 4チーム

奈良 54名 4チーム

和歌山 58名 4チーム

3 大会スタッフ 200名 (以下は内訳)

(1) IBAF コーチ 9名 (国際野球連盟より派遣された野球教室の指導者)

(2) アシスタントコーチ 18名 (野球教室及び大会運営に係る補助)

(3) ホストスタッフ 31名 (各国参加者の通訳及び子どもたちの日常の世話)

(4) シャペロン 12名 (野球教室に参加する国・地域に現地から帯同し、子どもたちの世話)

(5) 監督・コーチ 41名 (交流試合に参加するチームの監督・コーチ)

(6) 事務局スタッフ 56名 (世界少年野球推進財団、三重県、奈良県、和歌山県、熊野市、下北山村、新宮市、紀宝町、御浜町)

(7) その他 33名 (医療関係者等)

4 運営補助スタッフ 約900名 (内訳は以下のとおり)

(1) 開会式等式典 約400名 (式典運営に係る補助)

(2) 交流試合 約100名 (試合審判、試合運営に係る運営補助)

(3) 交流行事 約400名 (交流行事地元ボランティア)

5 開会式観客数 約1,500名

6 閉会式観客数 約200名

7 交流試合観客数 約3,000名 (3会場6日間12試合合計)

第22回世界少年野球大会三重・奈良・和歌山大会スナップ

平成24年8月1日
スポーツ推進局



